

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	さいたま市総合振興計画審議会調整部会(第2回)
2 会議の開催日時	平成25年7月29日(月) 10時00分から11時55分まで
3 会議の開催場所	ときわ会館 小ホール
4 出席者名	審議会委員:横道清孝部会長、渋谷治美副部会長、大久保秀子委員、久野美和子委員、作山康委員、中村仁委員 事務局:江口明男、松井雅之、小島豪彦、松尾真介、富田昌洋、南友和、池田宜弘、鈴木慶一
5 議題及び公開又は非公開の別	議題 ・(仮称)重点戦略について ・都市づくりの進め方について ・計画全体について ・その他 公開又は非公開の別 公開
6 非公開の理由	—
7 傍聴者の数	0人
8 審議した内容	別紙、議事概要のとおり
9 問合せ先	政策局政策企画部企画調整課 電話番号 048-829-1035
10 その他	

## さいたま市総合振興計画審議会 調整部会（第2回） 議事概要

第1回調整部会の審議結果と、その後開催された3つの部会での審議結果をもとに、(仮称)重点戦略、都市づくりの進め方について審議した後、第1部を含めた計画全体についても審議しました。

## 議題(1)(仮称)重点戦略について

事務局から、資料1及び資料3に基づき各部会の主な意見、素案について説明があり、審議しました。

## 【主な意見】

- ・次期基本計画(素案)の30ページ、(仮称)重点戦略の説明文の2段落目について、「『のびのびシティ さいたま』が表現するように」という文章はおかしいので、「実現するように」などに修正してもらいたい。
- ・戦略1のタイトルは良いと思うが、重点ポイントの内容について、年少人口が多いことが強みなのであれば、特徴的な内容を盛り込み、もう少し積極性や力強さを感じられると良い。
- ・「重点戦略」という意味を、「重点施策」「重点目標」程度の意味合いで使っているのであれば問題ないと思うが、戦略をどのように捉えるか、色々な人が思うところであるので少し気になる。
- ・戦略同士につながりがあるので、図を用いて横のつながりを示せると良い。例えば、戦略1と他の戦略との関係を見ると、戦略2は高齢者の子育て支援、戦略3は子育て世代の働きやすさ、戦略4は自然環境の学習、戦略5は子どもの見守りなどといった関係がある。
- ・戦略4や戦略5について、低炭素なまちや安全なまちをアピールするような、プロモーションの発想が大事である。さいたま市のライフスタイルの素敵さなど、良いところをアピールできるような工夫があればよい。
- ・戦略2は、主題と副題が重複しているので、違う表現にした方が良い。
- ・戦略3の副題の「価値を創造する」という表現は、様々な価値が考えられ、広範に捉えられてしまうのではないか。
- ・戦略は目標であり手段でもある。「重点施策」より目立つので、「重点戦略」というタイトルで良いと思う。ただ、訴求力を持つように、表現の仕方を工夫してほしい。
- ・戦略の相互の関係については、重点戦略の前文に留意点のような形で「ネットワーク化にも目を向ける」といった説明を加えることも考えられる。
- ・戦略の横断的な部分の表現方法として、重点ポイントの中で、主な施策は太字とし、他は文字の級数を小さくするという方法もある。従来の縦割り分担にならない書き方とすることが大事である。
- ・重点戦略同士の重なりよりも、第3部分野別計画を踏まえた上で、その横割りで

抽出したものという捉え方になると思う。重点戦略同士の相互の関係性については触れておいたほうがよいので、重点戦略のリード文に付記すれば足りるのではないか。

- ・重点ポイントに、他の戦略との関連を示す言葉を付け加えることも考えられる。例えば、恵まれた自然環境に触れながら子育てする、高齢者の力を子育てに生かす、など。
  - ・戦略1の主題は以前の候補案であった「子育て・子育て」からは幼い子どもを連想するので、若者を含む今回の方が良い。また、「人材」より「人財」が好ましい。
  - ・戦略5の主題について、さいたま市ではメガソーラーをはじめ「防災拠点」づくりを進めているので、「防災拠点」というキーワードを入れても良い。
  - ・戦略3の「都市」という言葉は、ハード面を指すだけでなく、地域社会、経済、産業を含めた全体でイノベーションを生み出すことを指すと解釈できる。さいたま市は、熱心な市民がいて、知的資源や財産が豊かなので、それらを生かすことで、より発展していくことができる。
  - ・戦略3の本文に「地盤が強く、自然災害が少ない」とあるが、これは過度な安心であって、このように言い切ってしまうことに疑問がある。同様に、戦略5の本文中「災害に比較的強いと言われている」についても、表現を工夫した方が良い。
  - ・戦略3「イノベーションを生み出す」よりも「イノベーションする都市」という表現の方が能動的に感じられて良い。
  - ・重点ポイントの記載方法は、「～まちづくり」よりも「促進」や「推進」のように積極的な姿勢を示してもらいたい。
  - ・主題と副題の関係は3種類考えられて、1つ目は組み換えの関係、2つ目は取組と結果の関係、3つ目は詳しい言い換えの関係である。戦略ごとに主題と副題の関係は様々で良いとしても、戦略1は主題と副題の関係が分かりづらいし、戦略2は言葉が重複している。また、戦略5は主題の「安全を支える」と副題の「みんながいるから安心」は全く別のことを言っているので、再検討してもらいたい。
- ⇒本部会の意見を踏まえ、タイトルは「重点戦略」を用いることとなりました。このほか、戦略のタイトル、重点戦略の相互の関係性を表す文章や図の作成などについて、事務局が再検討することになりました。

## 議題（2）都市づくりの進め方について

事務局から、資料2及び資料3に基づき各部会の主な意見、素案について説明があり、審議しました。

### 【主な意見】

- ・「計画推進の基本的な考え方」というタイトルに変更して分かりやすくなった。
- ・基本構想と次期基本計画の関係性について、基本構想にある「さいたま市らしさを生み出す都市づくり」を「重点戦略」の5つの柱だけで生み出すというだけでは足りないのではないか。そのために、「市民と行政の協働の推進」の記述を強化

することも考えられる。

- ・第1章第1節の「(4) 協働の推進」を、他の項目と同レベルに具体的な表記とした方が良い。
- ・第1章第1節の施策展開について、(1)～(4)のタイトルに、目的や何をするかを尖ったキーワードで明快に表せると良い。例えば、(1)は「情報共有・情報提供・窓口の一元化」(2)「オープンで戦略的な行政の展開」などが考えられる。
- ・第2章第1節の「持続可能な」という表現が分かりにくい。推進することがわかる表現になっていると良い。
- ・総合振興計画を総合的に進める責任母体はどこなのか、節立てなどして説明があると良い。

⇒本部会の意見を踏まえた修正については、正副部会長及び事務局に一任されました。

### 議題(3) 計画全体について

事務局から、資料3に基づき「第1部後期基本計画の策定にあたって」等について説明があり、審議しました。

#### 【主な意見】

- ・第1部の様々な図表については、今後洗練した方が良い。
- ・第1部の第2章「第3節 世界経済の停滞」について、「停滞」という表現で良いか疑問がある。現在も厳しいことには変わりはないが、リーマンショックのときからは抜け出しつつあるという印象である。
- ・第1部の第5章の将来都市構造には、イメージ図が1つしかないことに違和感がある。都市計画マスタープランと連携を図っているならば、都市のネットワークや土地利用の概略図などを転載した方が良い。
- ・第4部の各区の将来像の先頭ページにある説明文は、第1部など他のページにはないものなので、同ページ下段に注釈などで示せば足りる。

⇒本部会の意見を踏まえた修正については、正副部会長及び事務局に一任されました。

### その他

事務局から、総会の第2回開催日程について連絡しました。

○8月5日(月) 午後2時から 浦和コミュニティセンター第15集会室